

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-I-26

4-I
-26

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	生活道路の機能確保
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	26 生活道路の機能確保(市道)		事業主体	佐渡市建設課
			関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】 ○ 遺跡周辺の生活道路における道路パトロール等機能確保策を実施し、地域住民の生活環境維持を図る。			
	【事業内容】 ○ 遺跡周辺の生活道路(市道)における道路パトロール等機能確保策を実施する。			
事業実績	【事業成果】			
	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイダンス施設から遺跡周辺への導線について確認作業を行なった。 ● パトロールについては、定期的ではないものの通常業務のなかで行っている。 			
今後の取組・課題	【課題】			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活道路(市道)と導線の棲み分け(規制等)について検討が必要である。 			
	【今後の取組】			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路幅員が狭い箇所もあるので、平成29年度に委託する市道パトロールも含め、今後は通常業務の中で定期的にパトロールを実施していきたい。 			
事業評価	【事業の達成度】 [a ● b ● c]			
	【事業実施の効果】 [a ● b ● c]			
	【総合評価】 [A ● B ● C]			
	◇ 遺跡周辺の生活道路(市道)において、パトロールを実施している。			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。